

【研究概要】

天然物アンセロン A をシーズとする医薬化学研究：

HIV 根治の治療戦略「ショックアンドキル法」に資する HIV 潜伏感染再活性化剤の創製
薬学研究科・村井健一

（現所属：和歌山県立医科大学薬学部）

HIV 感染症の根治は未だ達成されておらず、その実現が強く望まれている。本研究では、天然物アンセロン類をシーズに、HIV 根治へ向けた革新的治療戦略「ショックアンドキル法」に資する HIV 潜伏感染再活性化剤の創製を目指す。申請者が既に確立したアンセロン類の全合成技術を基盤に、アンセロン類特有のヒドロベンゾピラン骨格をテンプレートに用いて、高い活性を示す合成機能分子を創出するための分子設計戦略を検証する。